第 4 章　詳細設定

5400 エミュレーターの Web ページメニュー構成と、これまでに、解説されていない項目について説明します。

- 詳細の表示 ---------- (4.3　「詳細の表示」)
  - プリント・サーバー構成ページ ---- (4.3.1　「プリント・サーバー構成ページ」メニュー)
  - LPR/FTP 印刷キュー ---- (4.3.2　「LPR/FTP 印刷キュー」メニュー)
  - ジョブ状況 ---- (4.3.3　「ジョブ状況」
  - マイクロコード・レベル ---- (4.3.4　「マイクロコード・レベル」
- ヘルプ ---------- (4.4　「ヘルプ」メニュー)
  - オンライン・ヘルプ ---- (4.4.1　「オンラインヘルプ」
  - カスタマー・サポート ---- (4.4.2　「カスタマーサポート」
  - プリント・サーバー設定 ---- (4.2　「プリント・サーバー設定」メニュー)
  - プリント・サーバー・リセット ---- (4.2.1　「プリント・サーバー・リセット」メニュー)
  - プリント・サーバー構成 ---- (4.2.2　「プリント・サーバー情報」メニュー)
  - インターフェース・ポート ---- (3.3.1　インターフェースポート)
    - -Telnet5250 ---- (3.4.1　Telnet5250E の設定)
    - -LPR ---- (3.4.2　LPR の設定)
    - -FTP ---- (3.4.3　FTP の設定)
  - エミュレーション ---- (3.5　エミュレーションの設定)
    - -SCS ---- (3.5.1　「SCS」エミュレーションの設定)
  - LPR/FTP 印刷キュー ---- (4.3.2　「LPR/FTP 印刷キュー」メニュー)
- ネットワーク設定 ---------- (4.1　「ネットワーク設定」メニュー)
  - TCP/IP ---- (3.2.1　「TCP/IP」メニュー)
  - イーサネット ---- (4.1.1　「イーサネット」メニュー)
  - Web ページ ---- (4.1.2　「Web ページ」メニュー)
- アクセスモード ---------- (4.5　アクセスモード)

4.1　「ネットワーク設定」メニュー

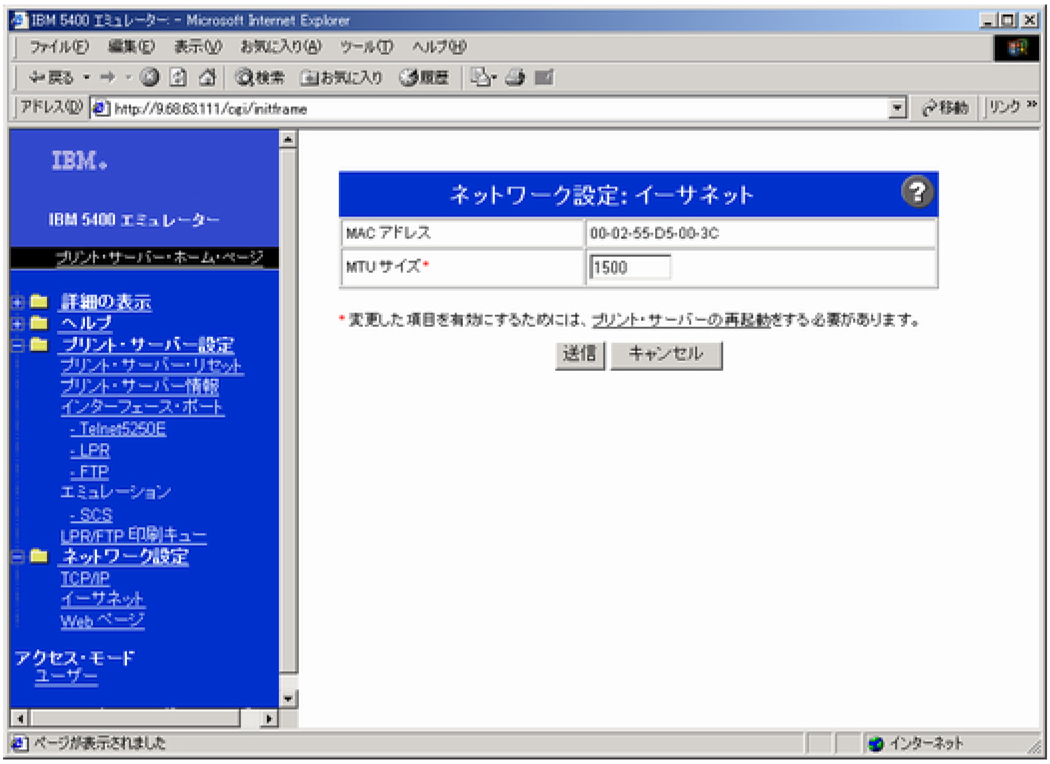
「ネットワーク設定」の文字をクリックすると、「TCP/IP」、「イーサネット」、「Web ページ」のメニューが表示されます。「TCP/IP」メニューについては、“3.2.1　「TCP/IP」メニュー”を参照してください。「イーサネット」、「Web」ページメニューについて説明します。

4.1.1　「イーサネット」メニュー

「イーサネット」の文字をクリックすると表示されます。

- MAC アドレス
  5400 エミュレーターの MAC アドレスです。5400 エミュレーターのシリアル番号と同一です。
- MTU サイズ
  最大伝送単位（MTU）－ IP パケットの許容される最大長（バイト）を指定します。MTU サイズを指定できます。

値	60-1500
初期値	1500



4.1.2　「Web ページ」メニュー

「Web」ページの文字をクリックすると表示されます。

● ヘルプ・デスク

名前や電話番号や Web サイトのようなローカルなサポート情報を設定します。インターネットアドレスを入力する時には、"http://"を忘れずに入力してください。この情報は、「ヘルプ」の下にある「カスタマー・サポート」ページに表示されます。

プリンターの管理者名や設置場所を入力するには、「プリント・サーバー」の下にある「プリント・サーバー構成」をクリックしてください

● Web ページ管理者 ID

Web ページの管理者モードに入るための管理者のユーザーID を指定してください。初期ユーザーID は"admin"です。

長さ	1-8 文字
初期値	Admin

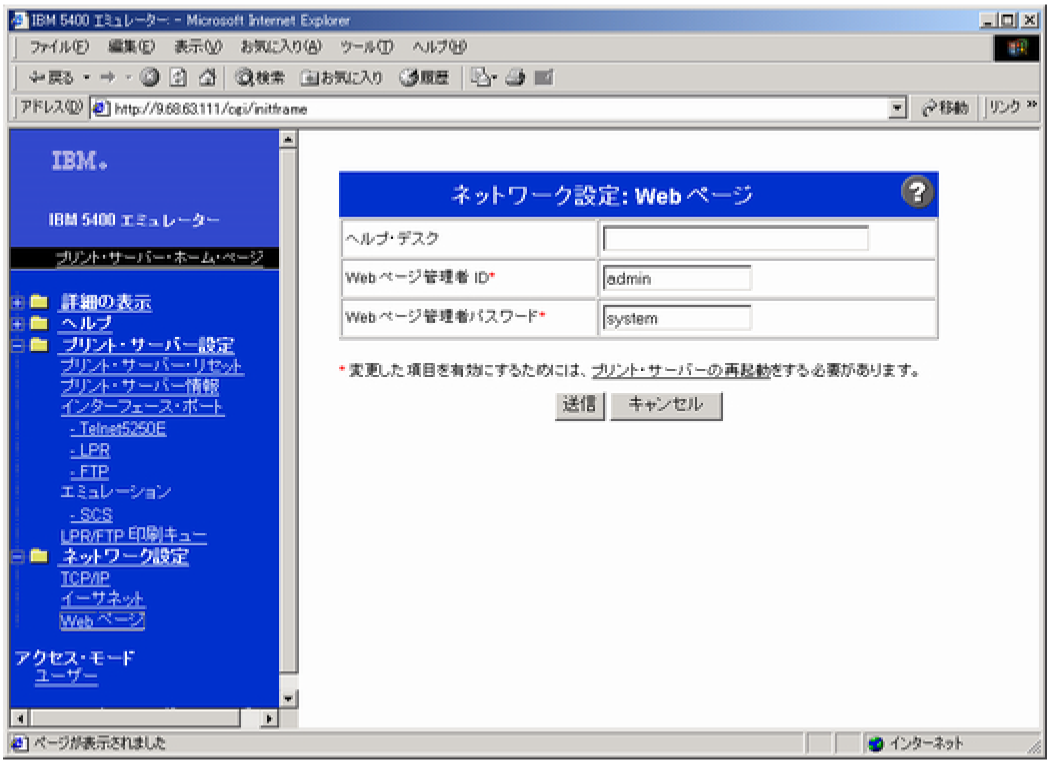
● Web ページ管理者パスワード

Web ページの管理者モードに入るための管理者のパスワードを指定してください。初期パスワードは"system"です。

長さ	1-8 文字
初期値	System

システム管理者の方へ

管理者の初期ユーザーID は"admin"、パスワードは"system"です。システムを管理される方は、「管理者」メニューから「ネットワーク設定」「Web ページ」を順に選択して、初期ユーザーID および初期パスワードを変更することをお奨めします。



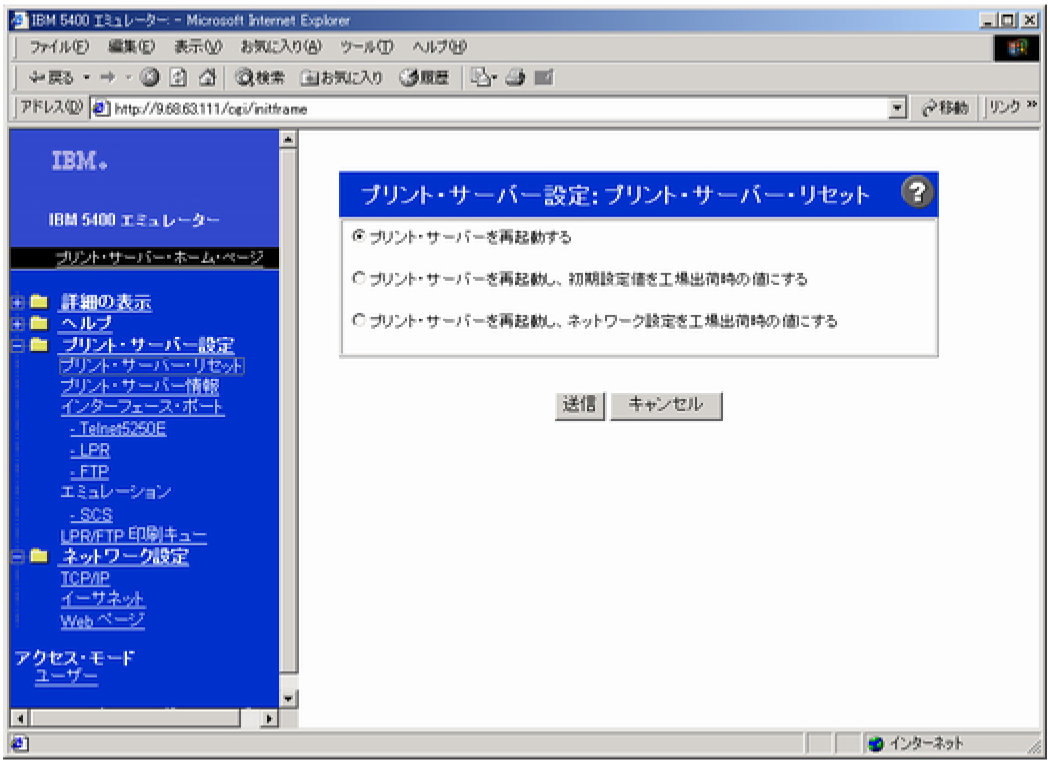
4.2　「プリント・サーバー設定」メニュー

「詳細の表示」メニューからは、以下のページが表示できます。

4.2.1　「プリント・サーバー・リセット」メニュー

「プリント・サーバー・リセット」の文字をクリックすると表示されます。

- プリント・サーバーを再起動する
  プリント・サーバーを再起動します。
- プリント・サーバーを再起動し、初期設定値を工場出荷時の値にする
  プリント・サーバー再起動し、初期設定値を工場出荷時の値にします。インターフェース・ポートの値と、ネットワーク設定はリセットされません。
  必要なときに、設定値を元に戻す事ができるように、プリント・サーバー構成ページを印刷することをお奨めします。
- プリント・サーバーを再起動し、ネットワーク設定を工場出荷時の値にする
  プリント・サーバーを再起動し、ネットワーク設定値を工場出荷時の値にします。ネットワーク設定以外の初期設定値はリセットされません。
  必要なときに、設定値を元に戻す事ができるように、プリント・サーバー構成ページを印刷することをお奨めします。



4.2.2 「プリント・サーバー構成」メニュー

「プリント・サーバー構成」の文字をクリックすると表示されます。

- 名前

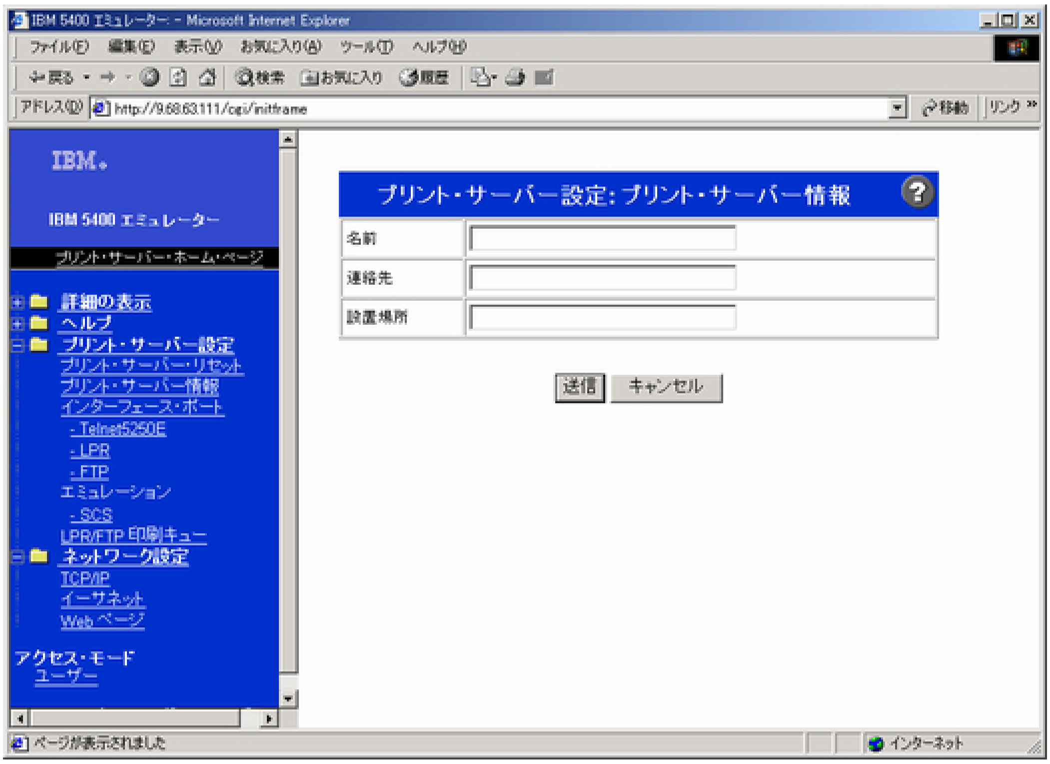
  プリンターの名前・管理者の名前等を指定します。この情報はプリント・サーバーのホームページに表示されます。

- 連絡先

  プリント・サーバーの使用者が、プリント・サーバープリンターについての援助が欲しいときの連絡先を指定します。この情報はプリント・サーバーのホームページに表示されます。

- 設置場所

  プリント・サーバーの設置場所を指定します。この情報はプリント・サーバーのホームページとブラウザーのタイトルバーに表示されます。



4.2.3 「LPR/FTP 印刷キュー」メニュー

「LPR/FTP 印刷キュー」の文字をクリックすると表示されます。

- 印刷キュー名

  印刷キューの設定を行うキューを選択します。5577 データストリーム印刷キューと、ESC/P 印刷キューが選択できます。

- 印刷キュー詳細

  印刷キュー毎に、印刷データの先頭に付加するコマンドをヘッダー用コマンドにて、印刷データの後に付加するコマンドをトレーラー用コマンドにて設定することが出来ます。

  ここで、コマンドを付加すると、行ピッチ・文字ピッチ等を印刷キュー毎に設定することが出来ます。

  また、行端に改行・復帰が付加されないシステムからの印刷を行う場合には、LF を CR+LF に変換、CR を CR+LF に変換が出来ます。また、ファイル終端に FF（改ページ）を付加する事も出来ます。

  - ヘッダー用コマンド

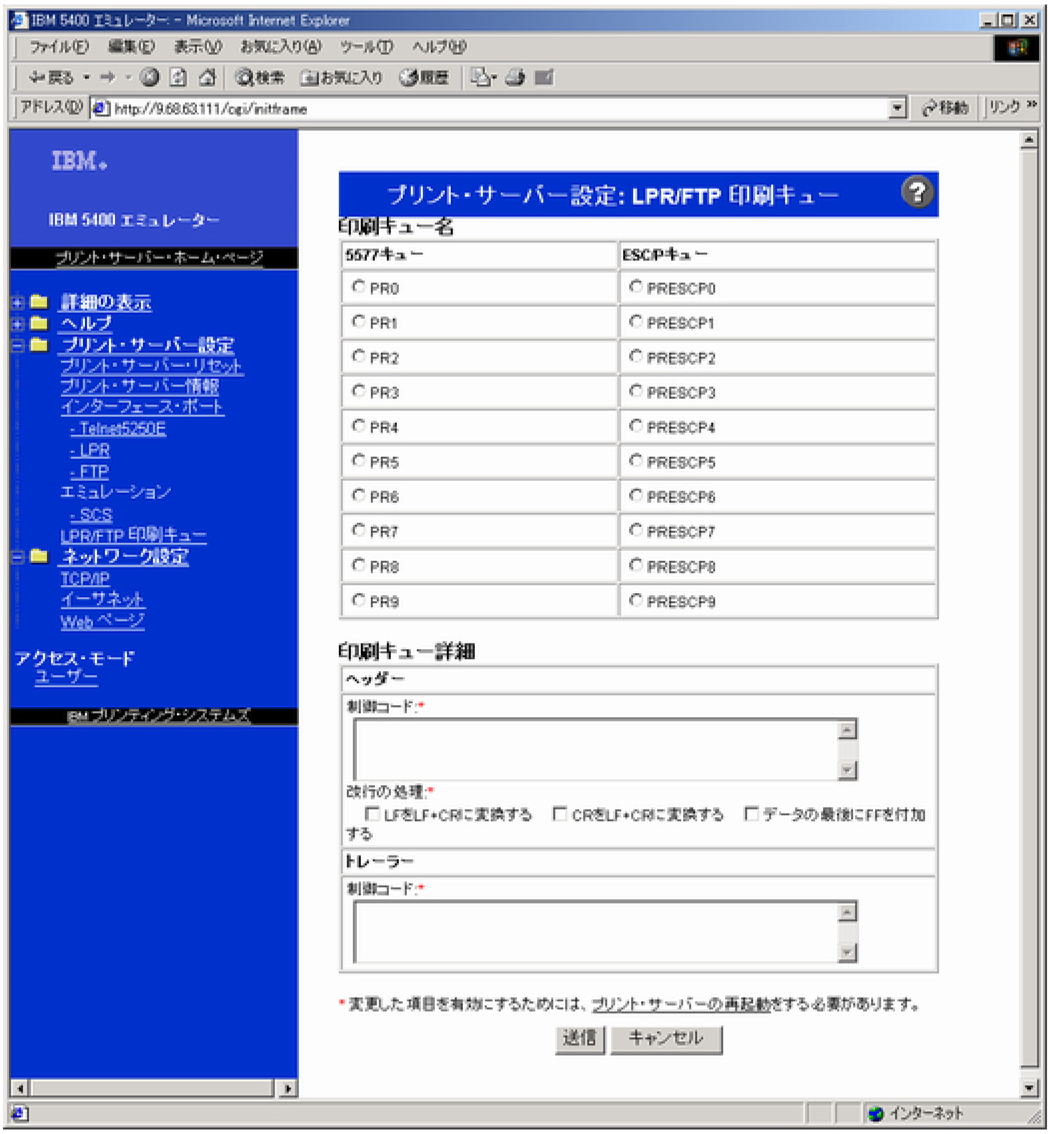
    印刷データの前に付加するコマンドを指定します。コマンドは、16 進データをテキストにて入力します。例えば、改行ピッチに 2LPI を指定 : "1B7E03000114"。128 文字まで入力できます。

  - 改行・末端処理

    LF（LineFeed）コマンドを CR（CarriageReturn）＋LF（LineFeed）に変換、CR（CarriageReturn）コマンドを CR（CarriageReturn）＋LF（LineFeed）に変換、ファイル終端に FF（FormFeed）コマンドを追加する事が出来ます。各処理を行う場合には、チェックボックスをチェックします。LF 変換と CR 変換は同時に選択する事は出来ません。

  - トレーラー用コマンド

    印刷データの後に付加するコマンドを指定します。コマンドは、16 進データをテキストにて入力します。末端処理（データの最後に FF を付加する）が指定されている場合、FF を付加した後に、ここで指定したコマンドを付加します。128 文字まで入力できます。


IBM 5400 エミュレーター - Microsoft Internet Explorer
http://9.68.63.111/cgi/initframe
IBM 5400 エミュレーター
プリント・サーバー・ホーム・ページ
詳細の表示
ヘルプ
プリント・サーバー設定
プリント・サーバー・リセット
プリント・サーバー情報
インターフェース・ポート
- Telnet5250E
- LPR
- FTP
エミュレーション
- SCS
LPR/FTP 印刷キュー
ネットワーク設定
TCP/IP
イーサネット
Web ページ
アクセス・モード
ユーザー
IBM プリンティング・システムズ
プリント・サーバー設定: LPR/FTP 印刷キュー
印刷キュー名
5577キュー
ESC/Pキュー
PR0
PRESCP0
PR1
PRESCP1
PR2
PRESCP2
PR3
PRESCP3
PR4
PRESCP4
PR5
PRESCP5
PR6
PRESCP6
PR7
PRESCP7
PR8
PRESCP8
PR9
PRESCP9
印刷キュー詳細
ヘッダー
制御コード:*
改行の処理:*
LFをLF+CRに変換する
CRをLF+CRに変換する
データの最後にFFを付加する
トレーラー
制御コード:*
* 変更した項目を有効にするためには、プリント・サーバーの再起動をする必要があります。
送信
キャンセル
インターネット

詳細設定